

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会  
滋賀県開催準備委員会

第 4 回広報・県民運動専門委員会

会議資料



日 時：平成 28 年 8 月 10 日(水)15:00~17:00  
場 所：滋賀県大津合同庁舎 7 - C 会議室

# 2024 滋賀国体・全国障害者スポーツ大会

## ～ 開催に向けた平成28年度の主な取組 ～

### 国体・全スポ開催準備委員会

負担金 24,200千円

#### (1)各競技会場の選定

- ◆第2次選定については、3月開催の「総務企画専門委員会」において、体育館競技以外のマッチングが整った競技(2競技)について内定案を決定。
- ◆体育館競技のうちマッチングが整った競技について、7月6日に再度「総務企画専門委員会」を開催、内定案を決定のうえ、両者を併せて8月3日に開催の「常任委員会」に諮り決定。
- ◆第3次選定に向け、引き続き各市町・競技団体からの希望を基にマッチング作業を継続。

#### (2)競技役員等の養成

- ◆平成27年8月に決定した「競技役員等養成基本計画」に基づき、審判員等の資格が必要な役員等について、競技団体毎に養成計画を作成のうえ、養成事業を開始。
- ◆開催準備委員会から各競技団体に対して補助金を交付し、養成事業を支援。

#### (3)開催準備委員会における大会準備

- ◆国体・全スポの一体感ある開催に向けた方策を「開催基本構想」(H30策定予定)に反映するため、「全国障害者スポーツ大会専門委員会」において具体策の議論を開始。

#### (4)開催機運醸成に向けた取組

##### ①国体・全スポマスコットキャラクターの検討

- ◆広報活動や募金活動への早期活用をめざし「広報・県民運動専門委員会」において“マスコットキャラクター”の検討に着手。
- ◆平成29年の開催準備委員会総会までに選定、以後の広報活動において活用。

##### ②募金活動の展開

- ◆「募金趣意書」に基づき、寄附募集の取組を継続。
- ◆頂いた寄附金は、当面の間「滋賀県競技力向上対策本部」で実施する、スポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費に充当。
- ◆併せて、(仮称)彦根総合運動公園や、移転新築を行う新県立体育館などの施設整備に要する経費に充当。
- ◆寄附を通じて「滋賀のスポーツを応援」いただけるよう、県民・企業の皆さんに対して積極的に呼びかけを実施。

##### ③子ども・若者参画特別委員会(ジュニア・ユースチーム)活動の展開

- ◆小学生～大学生世代の子どもや若者で構成する「ジュニア・ユースチーム」が、その柔軟な視点や発想を活かし、国体・全スポはもとより、広く県のスポーツ振興に関する課題等について調査研究。
- ◆第一期生(H26:「湖上スポーツ」)、第二期生(H27:「スポーツボランティア」)に引き続き、他県にはない『滋賀オリジナル』の取組として継続。

## 滋 賀 県

### 基金の積立て 等

28,462千円

- ◆大会の円滑な運営やスポーツ施設の整備、競技力の向上を図るため設置した「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会運営等基金」に、企業や県民の皆様からいただいた寄付金を積立て。(H27年度末残高:約3,569百万円)

**第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会  
滋賀県開催準備委員会  
第 4 回常任委員会における決定事項について**

**1. 開催期日・場所**

平成 28 年 8 月 3 日（水） 琵琶湖ホテル（大津市）

**2. 主な決定事項**

**（1）国体会場地の第二次内定を行いました。**

- ・ 市町と競技団体のマッチングが成立した 12 競技の会場地を内定

**（2）「広報基本計画」を決定しました。**

- ・ 「広報・県民運動専門委員会」で（案）を審議いただいた「広報基本計画」を正式に決定

**3. 第 4 回常任委員会における決定事項**

- ・ 添付資料のとおり

※第 4 回総会においては、特に決定事項はなし。

平成28年(2016年)8月3日  
第4回常任委員会決定

第79回国民体育大会 会場地市町第二次内定

番号	競技名(種目)		市町名	種別	開催予定施設
1	サッカー		東近江市	成年男子	布引運動公園陸上競技場 京セラ株式会社滋賀八日市工場総合グラウンド
			大津市	女子	皇子山総合運動公園陸上競技場 伊香立公園芝生グラウンド びわこ成蹊スポーツ大学陸上フィールド
			守山市	少年男子	野洲川歴史公園サッカー場(ビッグレイク)
2	テニス		大津市	全種別	大石緑地スポーツ村テニスコート
3	ボート		大津市	全種別	滋賀県立琵琶湖漕艇場
4	バレーボール		草津市	成年男子 成年女子	草津市立総合体育館 野村公園体育館
			近江八幡市	少年男子	近江八幡市立運動公園体育館
			守山市	少年女子	守山市民体育館
5	体操	競技	大津市	全種別	新県立体育館
		新体操	大津市	少年女子	新県立体育館
6	バスケットボール		大津市	成年男子 少年男子	新県立体育館
			草津市	少年女子	野村公園体育館
			野洲市	成年女子	野洲市総合体育館
7	レスリング		栗東市	全種別	栗東市民体育館
8	卓球		野洲市	全種別	野洲市総合体育館
9	柔道		長浜市	全種別	木之本運動広場体育館

番号	競技名(種目)	市町名	種別	開催予定施設
10	ソフトボール	東近江市	成年男子	布引運動公園多目的グラウンド
		高島市	成年女子	今津総合運動公園第2グラウンド
		草津市	少年男子	野村公園グラウンド
		守山市	少年女子	守山市民運動公園ソフトボール場・市民スポーツ広場
11	バドミントン	大津市	全種別	新県立体育館
12	空手道	大津市	全種別	ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)

- 注) 1 実施競技については、4年ごとに日本体育協会で見直しが行われており、滋賀県が開催する第79回大会の選定は平成29年度初旬の見込みであり、日本体育協会の実施競技の選定動向によっては、再調整が必要となる場合がある。
- 2 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

## 第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 広報基本計画

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」と総称する。）に向けて、第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会広報基本方針に基づき、次の広報活動を積極的かつ効果的に推進する。

### 1 目的

大会の開催意義を広く県民に周知し、その理解を深めることにより、大会への参加意識の高揚を図り、県民総参加でつくる大会につなげるとともに、滋賀や大会の魅力を全国に発信することを目的とする。

### 2 広報の手法

#### （1）愛称・スローガン等による広報

大会を象徴する愛称・スローガン等を策定し、普及する。

- ①愛称・スローガンの制定および普及
- ②マスコットキャラクターの制定および普及
- ③イメージソング・ダンス等の制定および普及

#### （2）各種広報物品による広報

各種広報物品の作成や既存の広報誌等を活用した、積極的な広報活動を展開する。

- ①大会広報誌の発行
- ②ポスターの作成
- ③パンフレット、リーフレット、ちらしの作成
- ④広報グッズの作成
- ⑤各種ガイドブックの作成

#### （3）多様なメディアによる広報

報道機関との連携およびインターネットなど多様なメディアにより、広域的かつ効果的な広報活動の展開を図る。

- ①新聞、ラジオ、テレビ等による広報活動の推進
- ②県や市町、各種団体等の広報媒体の活用
- ③専用ホームページの開設やSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、動画共有サイト等のソーシャルメディアの活用

#### (4) イベント等による広報

大会開催までの節目などにおいてイベントを開催するとともに、各種イベントや事業と連携した広報活動を実施する。

- ①開催内定イベント、開催決定イベント等の開催
- ②県や市町、各種団体等が主催するイベントにおけるPR活動等の実施
- ③「しがスポーツ大使」の参加するイベントとのタイアップ
- ④「子ども・若者参画特別委員会(通称：ジュニア・ユースチーム)」との連携
- ⑤出前講座を活用した広報

#### (5) 屋外広告物による広報

広告塔や横断幕等を設置して大会開催の広報に努める。

- ①のぼり、横断幕、懸垂幕の設置
- ②歓迎塔、歓迎アーチ等の設置
- ③広報看板、カウントダウンボード等の設置

#### (6) 映像等による広報

県民の参加意識の高揚を図るため、映像を活用した広報を実施する。

- ①先催県の大会映像等(DVD等)の貸出
- ②広報用映像の制作およびインターネット等での公開

#### (7) 記録映像等の制作

大会の成果を永く記録にとどめるため、記録映像等を制作する。

- ①記録映像の制作
- ②記録写真集の制作

#### (8) 参加章等の作成

大会の開催を記念し、大会参加章や記念章を作成する。

#### (9) その他広報

その他、広報基本方針に基づき、効果的な広報を実施する。

### 3 活動展開の指針

#### (1) わかりやすい広報

見る側や聞く側など、受け手に配慮した、誰にでも伝わるわかりやすい広報に努める。

## **(2) 媒体の特性に応じた広報**

それぞれの広報媒体の強みを活かした広報に努める。

## **(3) 状況に応じた広報**

時間や場所、タイミングに配慮した広報を実施するとともに、その時々で最も効果的な広報媒体による情報発信に努める。

## **(4) さまざまな主体との連携・協働**

県民総参加でつくる大会に向け、大会の広報についても、県内の多様な主体と連携・協働のもとに展開する。

## **(5) 募金活動との連携**

募金活動における取組とも連携して広報活動を実施し、相乗的な効果を生み出せるように努める。

## **(6) 大会後につながる広報**

大会に向けた広報はもちろん、大会終了後も多くの方々が滋賀県を訪れていたように、滋賀の持つ魅力の発信にも努める。

## **(7) 受け手の声を反映する広報**

広報活動を実施する際に、できる限り受け手の声を取り入れ、今後の広報活動や大会運営にも活かすよう努める。

## **4 構成員の役割**

開催準備委員会の構成員は、各々の特性に応じた広報活動を行うとともに、互いに連携・協働しながら大会や滋賀の魅力を発信するよう努める。

## **5 基本計画の進行管理**

基本計画については、取組の進捗状況等を「広報・県民運動専門委員会」において毎年検証するとともに、必要があるときは、開催準備委員会の常任委員会の議決を経て変更する。

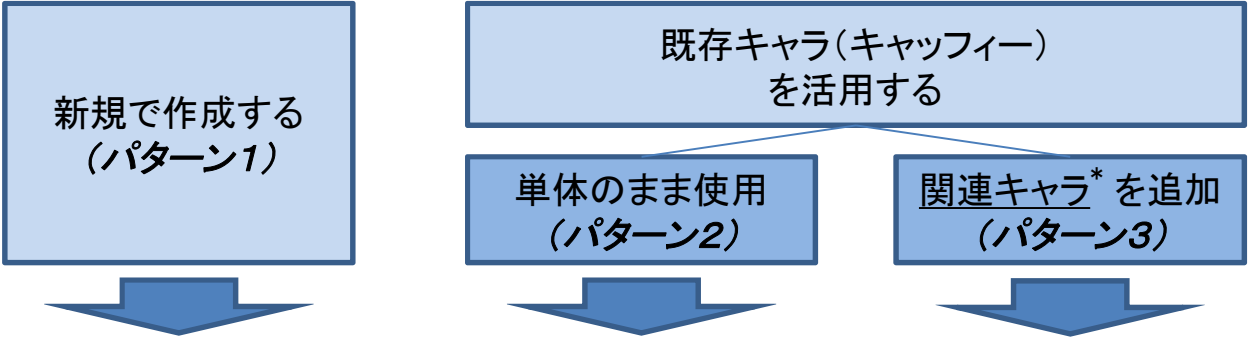


# 全体スケジュール

	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	H31 (2019) 5年前	H32 (2020) 4年前	H33 (2021) 3年前	H34 (2022) 2年前	H35 (2023) 1年前	H36 (2024) -
				開催内定		開催決定		県-州大会	開催
方針・計画	広報計画基本	基県本民方運針動	基県本民計運画動						
大会愛称・スローガン等による広報	マスコットキャラクターの選定 (H29年度に決定、第5回総会で報告)		大会愛称・スローガンの募集・決定		イメージソング・ダンス等の募集・決定				
各種広報物品による広報	ポスターやちらし、パンフレット、リーフレット、広報グッズの作成								
	大会広報誌の発行								
	各種ガイドブックの作成								
多様なメディアによる広報	新聞、ラジオ、テレビ、インターネット等による広報活動の推進 県や市町、各種団体等の広報媒体の活用 ソーシャルメディアの活用								
	県ホームページでの情報発信	専用ホームページの開設							

	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	H31 (2019) 5年前	H32 (2020) 4年前	H33 (2021) 3年前	H34 (2022) 2年前	H35 (2023) 1年前	H36 (2024) -
				開催内定		開催決定		川-州大会	開催
イベントによる広報				開催内定 イベント		開催決定 イベント		開催1年前 イベント	開催直前 イベント
各主体が主催するイベント等における広報活動、「しがスポーツ大使」の参加イベントとのタイアップ、「子ども・若者参画特別委員会」との連携、出前講座を活用した広報									
屋外広告物による広報		のぼり、横断幕、懸垂幕の設置				広報看板、カウントダウンボード等の設置		歓迎塔、歓迎アーチ等の設置	
映像等による広報	先催県の大会映像等の貸出								
				広報用映像の制作およびインターネット等での公開					
記録映像等の制作									大会記録映像や記録写真集の制作 (大会後)
参加章等の作成								参加章、記念章の作成	

## マスコットキャラクター選定方針（素案）



選定方法	<p>デザインの募集方法 ①一般公募 ②デザイン業者によるコンペ方式のいずれか。</p> <p>※愛称募集については、いずれの方法でも一般公募により実施</p>	<p>「キャッフィー」を起用。</p> <p>→県イメージキャラクターとの区別を図るため、コスチュームを大会仕様に変更。 (「キャッフィー」デザイン考案者に依頼)</p>	<p>「キャッフィー」に関連するキャラを追加し、セットで活用。</p> <p>→関連キャラのアイデア(ストーリー、デザイン、愛称)を一般から公募。</p> <p>※アイデアの完成度によっては、「キャッフィー」デザイン考案者にリライトを依頼する可能性あり</p>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選定過程を通じた大会PR、機運醸成が可能。</li> <li>・「国体・全スポのキャラ」という新鮮さがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既にある一定の認知度と活用実績(立体化やポージング等)を活かすことができる。</li> <li>・方針決定後、すぐに大会広報に活用が可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キャッフィー」の実績や基盤を活かしつつ、新鮮なイメージを付加することができる。</li> <li>・選定過程を通じた大会PR、機運醸成が可能。</li> <li>・方針決定後、先行的に「キャッフィー」単体で大会広報に活用が可能。</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、既に様々なモチーフのキャラが多数存在し、キャラの乱立化に拍車がかかる。</li> <li>・マスコットが決定するまでの間、キャラクターを活用した大会広報ができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集による機運醸成や県民参加が図りにくい。</li> <li>・決定時の目新しさや話題性に欠ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キャッフィー」のキャラ設定やデザインの枠組みの中での追加となる。</li> <li>・募集内容が一見して分かりにくい。</li> </ul>
(予定) 今後の活かし方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選定過程を通じた機運醸成を図りつつ、大会マスコットとして開催まで活躍。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催準備期間～大会開催の間は、県イメージキャラクターとしても活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選定過程を通じた機運醸成を図りつつ、大会開催まで県イメージキャラクターと共存。</li> <li>・関連キャラも、大会PRに限定せず幅広い分野での活用を図る。</li> </ul>

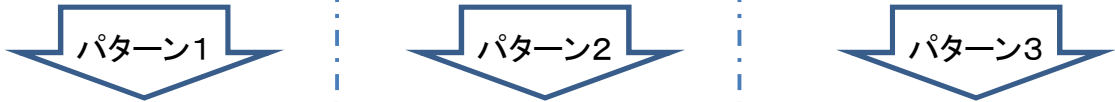
\* 関連キャラとは… 「キャッフィー」と対になる存在であり、デザイン的にも親和性・類似性のあるキャラクター。基本的には「キャッフィー」とセットでの活用を想定。

## 第 3 回広報・県民運動専門委員会 委員からの主な意見

- ・ 新しいキャラで滋賀県をアピールしていくのが国体・全スポを目指す我々としてはふさわしいのではないか。
- ・ 滋賀県は「ゆるキャラ」の先進地とも言われている一方で、県のキャラは知られていない状況。大会後も滋賀の顔として使えるキャラクターを考えるべき。
- ・ 「キャッフィー」は多方面の事業やイベントに出ている状況であることから、国体・全スポを契機にスポーツ振興に特化したキャラを改めて作ってはどうか。
- ・ 県内の機運を高めるのであれば既存でも十分かもしれないが、それでも新しいものを決めていく方がより機運が高まるのではないか。
- ・ 新しいキャラクターを県民みんなで選んでいくという過程がPRになるのではないか。
- ・ 「キャッフィー」に新しいキャラを加えてPRするような広報戦略の組み立てであれば、親しみやすいキャラとして基盤のある「キャッフィー」の良さを活かせるのではないか。
- ・ 新規キャラを選定していく取組自体が、両大会のPRにつながっていくことは間違いないと思うが、それ以上の効果というものはあまり期待できないのではないか。
- ・ すでにたくさんのゆるキャラがいる中で、お金をかけて新しいキャラを作るよりも、今ある宝を使う方が、滋賀県らしいのではないか。
- ・ 大会の広報・県民運動の本質は、大会の意義、概要等の周知であり、今の時点では、マスコットキャラクターの選定作業を通じた機運の醸成よりも、国体・全スポそのものの周知、また、その機運を高めていく取組に費用と時間を費やすべきではないか。
- ・ 県のキャラが乱立しているという指摘がある中では、既存キャラに国体・全スポの性格付けをしていくのが良いのではないか。
- ・ 広報戦略が非常に大事。大会マスコットであることをなるべく印象付けられるような広報PRをすることが大切である。
- ・ 県内か県外か、どちらの機運を高めるのかをまず決めてから、マスコットを既存にするのか新規にするのかを決めた方が良い。
- ・ 特定の地域色が出ないように留意しながら、マスコットの選定を進められたい。

## マスコット選定に向けた今後のスケジュール

8月10日	第4回広報・県民運動専門委員会 →選定方針(素案)の提示
9月上旬	第5回広報・県民運動専門委員会 →マスコット選定方針決定 ※選定作業を進める上で必要な要項等の策定(ex.募集要項、選定部会設置要領(+部会員選出)等) →パターン2および3の場合、「キャプフィー」を大会PRキャラ(仮)として、広報等で活用開始



	パターン1	パターン2	パターン3
9月中旬 ～下旬	デザイン募集チラシ・ ポスター作成 (1ヶ月半)	「キャプフィー」考案者に大会 仕様のコスチュームの 考案を依頼	アイデア募集チラシ・ ポスター作成 (1ヶ月半)
10月			
11月	募集チラシ等配付・ デザイン募集 (2ヶ月)		募集チラシ等配付・アイデア募集 (2ヶ月)
12月			
平成29年 1月	マスコット選定部会		マスコット選定部会
	商標登録調査(デザイン)		商標登録調査
	第6回広報・県民運動専門委員会 → <b>デザイン決定</b>		第6回広報・県民運動専門委員会 → <b>候補作品の確認</b>
2月	募集チラシ等配付・ ポスター作成 (1ヶ月半)	第6回広報・県民運動 専門委員会 → <b>大会仕様コスチューム確認</b>	※リライトが必要な 場合、「キャプフィー」 考案者による作業 (1ヶ月程度?)  「キャプフィー」考案 者に大会仕様 の「キャプフィー」の コスチューム考案を 依頼
3月			第7回広報・県民運動専門委員会 → <b>(採用作品+)大会マスコット決定</b>
4月	配付・愛称募集 (1ヶ月半)		
5月	マスコット選定部会		
	商標登録調査(愛称)		
	第7回広報・県民運動専門委員会 → <b>(愛称+)大会マスコット決定</b>		
6月	開催準備委員会第5回総会 →マスコット決定報告		

決定報告を行う(第5回総会)までの間は、「キャプフィー」単体を大会広報等で活用

決定報告を行う(第5回総会)までの間は、「キャプフィー」単体を大会広報等で活用